

Press Release



2017年2月28日

コベストロジャパン株式会社

このプレスリリースは2月20日にドイツ・コベストロ社が発表したものを日本語に翻訳したもので、報道関係者各位へ参考資料として提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語を優先します。原文は www.covestro.com をご参照ください。

すべての目標を達成、または上回る：

コベストロ、記録的な一年

- 主要製品の販売量は前年比 7.5%増
- 特別項目計上前 EBITDA は前年比 22.7%増の 20 億ユーロ
- フリー・オペレーティング・キャッシュフローは大幅に増加
- 純利益は 2 倍以上の増加
- 1 株 1.35 ユーロの配当金を検討
- 2017 年度通年の事業見通しに自信

ドイツ・レバクーゼン、2017年2月20日ー

2016 年は、素材メーカーのコベストロにとって記録的な 1 年となりました。革新的素材の需要に牽引され、グループ全体の主要製品の販売量は 7.5%増加しました。各地の工場の稼働率が向上し、特別項目計上前 EBITDA は 2015 年を 22.7%上回り、20 億ユーロになりました。純利益は 3 億 4 千 3 百万ユーロから 2 倍以上の 7 億 9 千 5 百万ユーロになりました。これに基づき、コベストロは 1 株 1.35 ユーロの配当金を株主に支払うことを検討しています。



「当社の戦略は成果を挙げています。この素晴らしい業績がコベストロの根本的な強みを明確に実証しています。当社の革新的で持続可能な製品に対する顧客需要の伸びは、今後ますます高性能プラスチックが従来型素材に取って代わることを示します」と CEO のパトリック・トーマスは説明しました。

フリー・オペレーティング・キャッシュフローも 41.8%と大幅に伸長し、14 億ユーロになりました。収益も増加しており、使用資本利益率 (ROCE) は 14.2%に達し、前年度を大幅に上回っています。コベストログループの売上高は販売価格の低下と為替の影響を受けた結果、わずかに 1.5%低下し、119 億ユーロになりました。

生産能力の最適化で需要増に対応

2016 年、主要製品の販売量の伸びは世界の国内総生産 (GDP) の伸びを上回っており、主要顧客産業の重要なトレンドに沿ったコベストロの強固で戦略的な立場を明確に表しています。コベストロは確実に販売量を増加し、さらに既存の生産施設の稼働率を改善しています。また、需要増に応えるため、高成長地域では初期の段階から生産能力の拡大を開始しました。これは、特に塗料用原料 (HDI) の生産開始とポリカーボネートの生産能力を倍増したアジア市場で顕著です。

ヨーロッパでは、生産設備はさらに最適化されています。ブルンスビュッテル (ドイツ) では、硬質フォームの前駆体 MDI の生産能力の増強が 6 月に開始されました。2018 年までに年間生産能力を 40 万トンに倍増します。さらに、コベストロは 2016 年に、CO₂ が市販品生産のための原料として有効利用できることを証明しました。昨年、ドルマーゲン (ドイツ) では、世界で初めて CO₂ を軟質フォーム構成要素のための原料として使用する産業規模の生産施設を稼働しました。

財務柔軟性の向上

コベストロは昨年度、バイエルからの融資残高をすべて返済しました。3 月に全額返済するための資金を調達する債券発行プログラムの一環として総額 15 億ユーロの初めての社債を発行しました。2016 年度末には、有利子負債は 15 億ユーロで、前年度より約 7 億ユーロ減少しました。

「債券発行プログラムにより、当社の財務柔軟性は向上しています。キャッシュフローの増加によって、現在コベストロは独自の投資をするための資金を十分もっています」と CFO のフランク・H・ルッツは述べています。



ポリウレタン事業部とポリカーボネート事業部への強い需要

2016年、ポリウレタン事業部は主要製品の販売量が前年比7.7%増でした。すべての製品グループ、特に、MDI製品グループの力強い販売量の増加に牽引され、特別項目計上前EBITDAは41.2%増の8億8千1百万ユーロになりました。需要は、自動車や建築などの主要産業によって牽引されました。10月には、サプライヤーの予期せぬ生産停止のため、ヨーロッパでのMDIとTDIの生産施設の稼働率を低下せざるを得なくなり、フォースマジュールを宣言しました。これは年度末に解除されています。

ポリカーボネート事業部での主要製品の販売量は前年比10.3%増でした。販売量は、特にAPAC地域とNAFTA地域で大幅に増加しています。ポリカーボネート事業部の特別項目計上前EBITDAは25.7%増の7億4百万ユーロになりました。電気・電子産業からの需要も主要な成長の原動力となりました。

塗料・接着剤・スペシャリティーズ（CAS）事業部では、想定内の取引の契約終了による影響があったにもかかわらず、主要製品の販売量は安定した状態を維持しました。特別項目計上前EBITDAは1.8%増の5億ユーロになりました。原料価格の低下は、収益にプラスの影響を与えています。また、より高品質の最終製品が好まれるトレンドは、CAS製品の需要をも押し上げました。

2016年度の第4四半期は高い収益性を達成

コベストロは、2016年の第4四半期でも好調な業績を継続しました。10月から12月までに、主要製品の販売量は前年同期比で4.8%増加しました。販売価格の上昇により、グループの売上高は7.8%増の30億ユーロとなりました。特別項目計上前EBITDAは52.3%と飛躍的に増加し、3億9千万ユーロとなっています。純利益は1億2千4百万ユーロで、2015年の第4四半期（マイナス8千4百万ユーロ）を大幅に上回りました。フリー・オペレーティング・キャッシュフローは、わずかに3.6%増の4億7百万ユーロとなりました。

さらなる利益の拡大を予測

2017年、コベストロは企業ビジョン‘To make the world a brighter place（世界を明るくより良い場所に）’に沿って、引き続き革新的素材の開発に取り組みます。「グローバルで進行するマクロトレンドに沿った持続可能な成長に重点を置き、コベストロは長期的な市場開発から利益を得ることができる強固な立場を確立しました。2017年の見通しは、確かな自信を持っています」とパトリック・トーマスは述べています。



それぞれの地域の顧客と緊密に連携しながら事業を行うグローバル企業として、コベストロは地政学的な不確実性と経済の不安定性が見られる環境の中で、安定した立場にあると考えています。現在のグローバル経済と主要顧客産業の予測に基づき、コベストロは2017年も重要な指標で確かな業績を上げることを見込んでいます。グループレベルの主要製品の販売量については、通年で1桁台前半から半ばパーセントの増加を予測しています。フリー・オペレーティング・キャッシュフローは過去3年間の平均をわずかに上回る増加、ROCEは2016年の水準をわずかに上回る増加を予測しています。

.....

コベストロ社について

コベストロ社は2016年度売上高が119億ユーロの世界最大のポリマー製造企業のひとつです。主たる活動分野は、高機能ポリマー材料の生産、および日常生活の多くの分野で使用されている製品の革新的ソリューションの開発です。主要な顧客は、自動車、電気/電子、建築、スポーツ・レジャーの各産業です。コベストロ社は、世界中の30拠点に生産施設があり、社員数は2016年末で約15,600人です。詳しくはこちらをご覧ください。covestro.jp

【この件に関するお問い合わせ先】

コベストロジャパン株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園 1-7-6 クロスプレイス浜松町 7F

広報部 梅澤 Tel:03-6403-9112 / Fax:03-3436-1540



コベストログループの主要データ

	2015 (百万ユーロ)	2016 (百万ユーロ)	前年比 %
主要製品販売量増減	+2.7%	+7.5%	
売上高	12,082	11,904	-1.5
売上高差異			
販売量要因		+5.0%	
価格要因		- 5.2%	
為替要因		- 1.3%	
製品構成要因		0.0%	
EBITDA ※1	1,419	2,014	+41.9
特別項目計上前 EBITDA ※2	1,641	2,014	+22.7
EBIT ※3	680	1,331	+95.7
特別項目計上前 EBIT ※4	942	1,331	+41.3
当期純利益	343	795	> 100
フリー・オペレーティング・キャッシュフロー	964	1,367	+41.8
—			
ROCE ※5	9.5%	14.2%	

※2016年12月31日付（前年同月同日比）

- ※1 金利・税金・償却前利益
- ※2 特別項目計上前の金利・税金・償却前利益
- ※3 金利・税引前利益
- ※4 特別項目計上前の金利・税引前利益
- ※5 使用資本利益率

将来予想に関する記述（Forward-Looking Statements）

このニュースリリースには、コベストロ社による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述（Forward-Looking Statements）が含まれている可能性があります。さまざまな既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因にはコベストロのウェブサイト（www.covestro.com）に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。コベストロは、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負うものではありません。